

## 第6回空港運営のあり方に関する検討会資料

日本一美しく広い空港

熊本県企画振興部交通政策・情報局 交通政策課

©LUKE H. OZAWA

# 目次

## 1 阿蘇くまもとと空港の概要

- ①位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- ②就航路線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ③旅客状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- ④路線数・便数状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ⑤熊本県が目指す空港・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

## 2 経営一体化等の検討

- ①本県の空港運営の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- ②本県の基本的な考え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

(参考) 大空港構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

阿蘇くまもとと空港のイメージキャラクター「あそらくん」



# 阿蘇くまもと空港の概要～①位置

- 地理的優位性＝九州の中心に位置する空港
- 熊本～九州主要都市は、自動車で2時間強の範囲でアクセス

## 九州新幹線

●2011年3月12日 全線開業

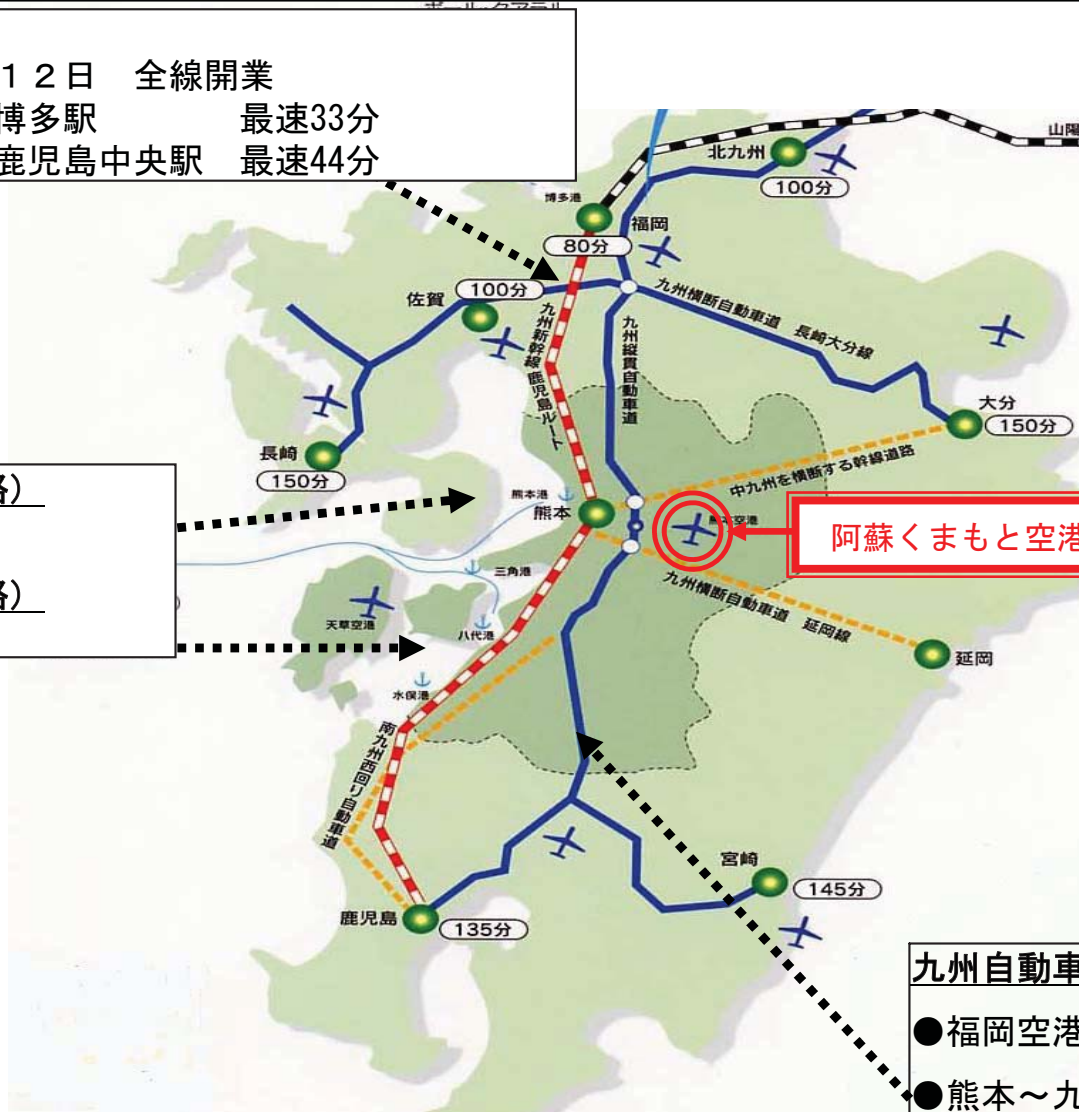
- 熊本駅 ～ 博多駅 最速33分
- 熊本駅 ～ 鹿児島中央駅 最速44分

## 熊本港（国際航路）

釜山行き週1便

## 八代港（国際航路）

釜山行き週2便



阿蘇くまもと空港

## 九州自動車道

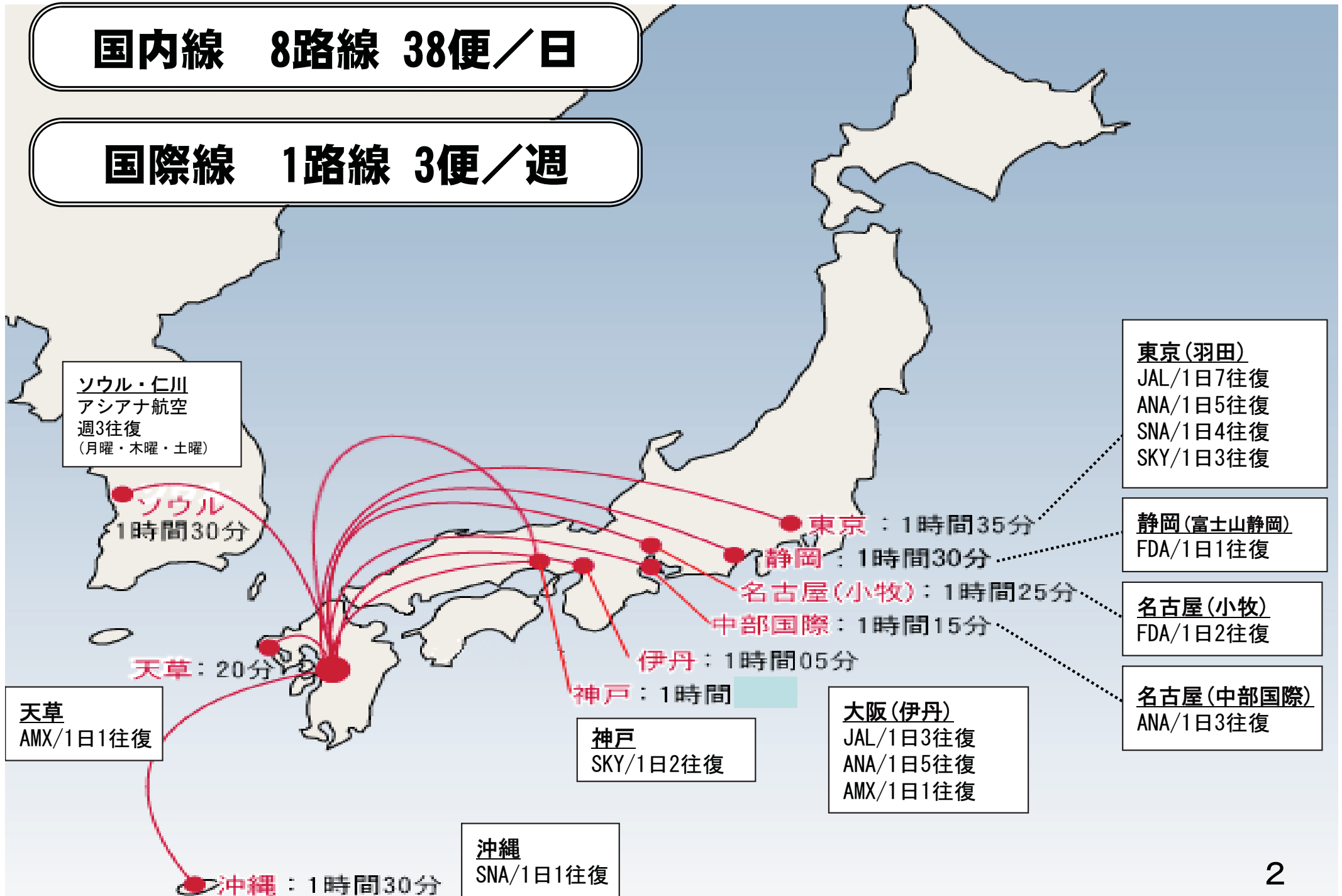
- 福岡空港～熊本間は約80分
- 熊本～九州主要都市へ2時間強

施設の概要	管理面積	1,755,186㎡
	滑走路	長さ3,000m×幅45m
	エプロン	8バース (大型機用×3、中型機用×3、小型機用×2)
	ターミナルビル	(国内線)RC・S造4階建 床面積21,351.05㎡ (国際線)S・RC造2階建 床面積4,971㎡
	計器着陸システム	2006年(平成18)年4月 ILS CAT「Ⅲb」供用開始
供用開始日	1971(昭和46)年4月1日～	
運用時間	14時間(7:30～21:30)	
就航路線	国内線：8路線・38便/日 国際線：1路線・3便/週	

# 阿蘇くまもと空港の概要～②就航路線

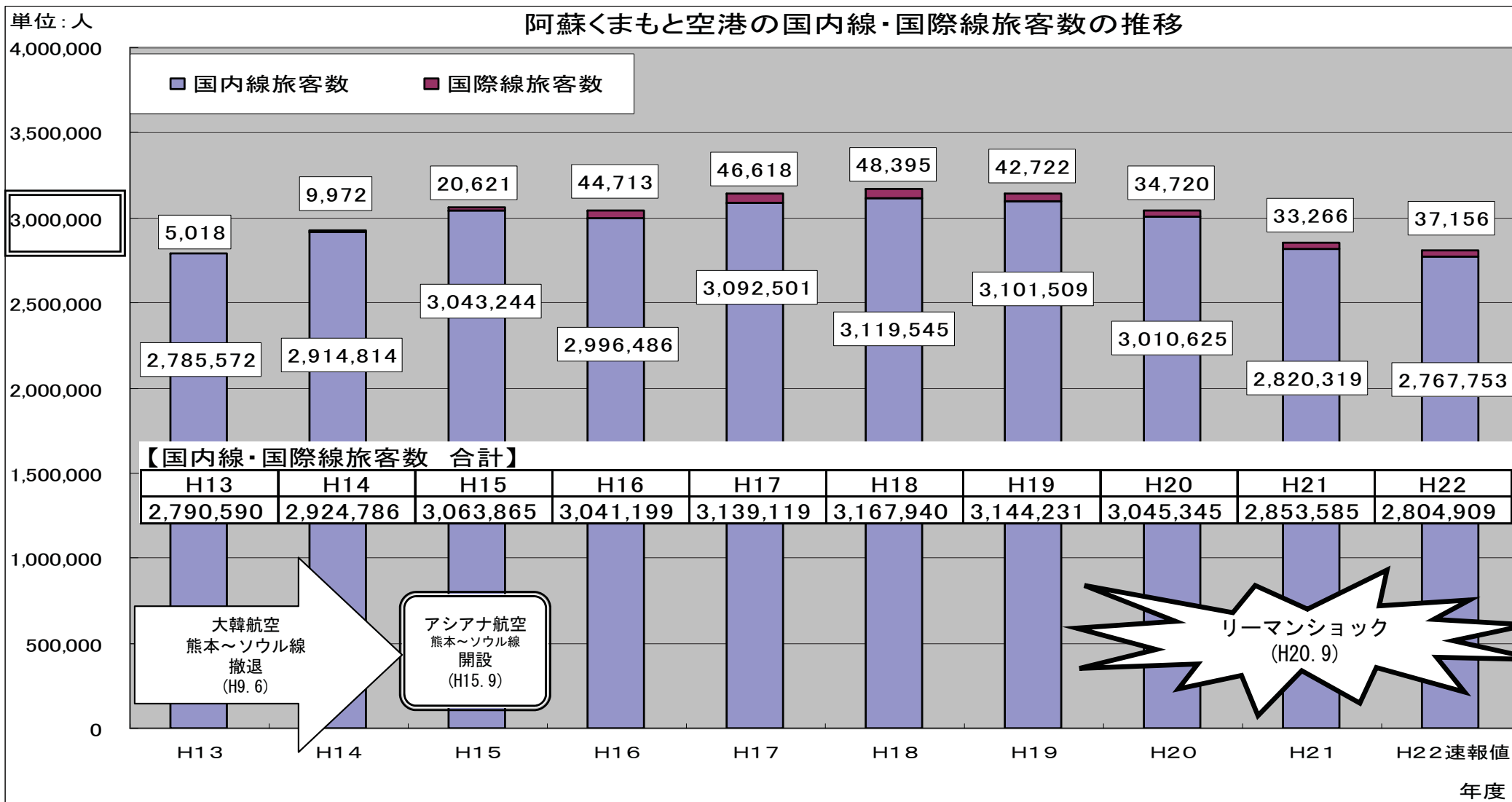
国内線 8路線 38便/日

国際線 1路線 3便/週



# 阿蘇くまもと空港の概要～③旅客状況

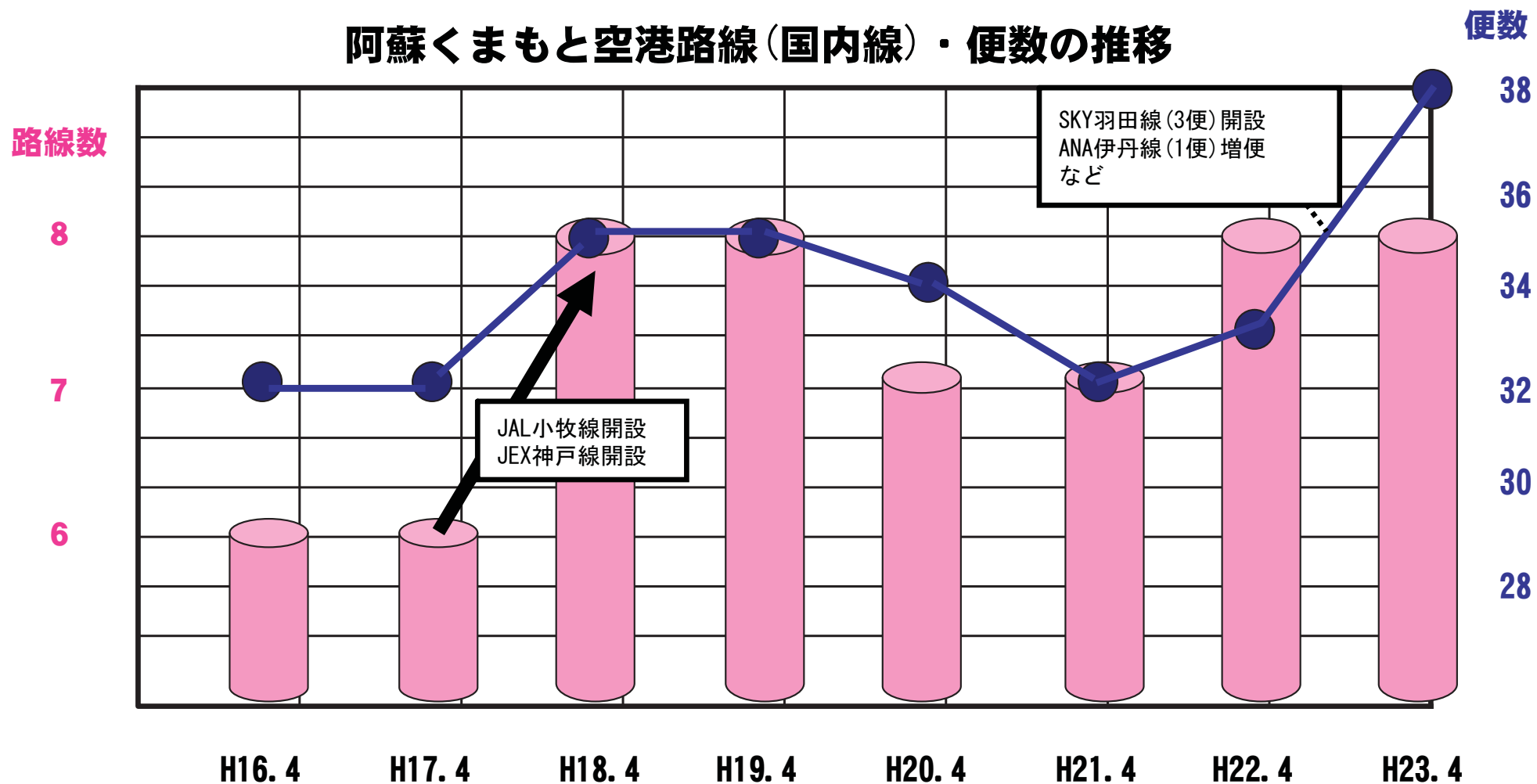
- 平成22年度の旅客数は、国内線2,767,753人、国際線37,156人
- 平成14年度以降、300万人前後で推移



# 阿蘇くまもとと空港の概要～④路線数・便数状況

- 阿蘇くまもとと空港の路線・便数は、これまで堅調に推移
- 路線数は8路線で推移しているものの、便数は平成22年10月のスカイマーク羽田線新規就航等もあって、増加

## 阿蘇くまもとと空港路線（国内線）・便数の推移



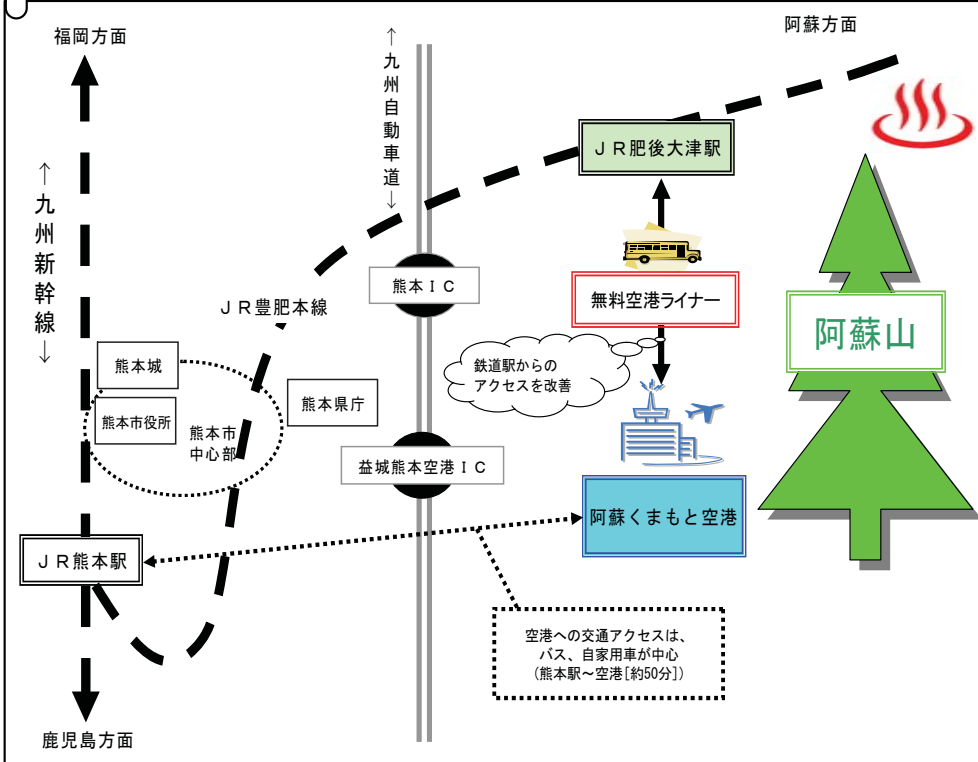
# 阿蘇くまもとと空港の概要～⑤熊本県が目指す空港

阿蘇くまもとと空港は、

- ・ 3月12日に全線開業した九州新幹線とともに、熊本の拠点性を高め、県全体の活力を牽引する役割を担う重要な交通基盤
- ・ 九州におけるハブ機能を担い、さらには将来の州都実現という目標に近づくために必要な交通基盤

であり、引き続き国内外、特にアジアとのゲートウェイとしての機能強化を図る

今年度、JR肥後大津駅と空港の間を結ぶ「無料空港ライナー」の試験運行を開始予定など、空港への交通アクセスを改善



【熊本市（西側）から見た阿蘇くまもとと空港】

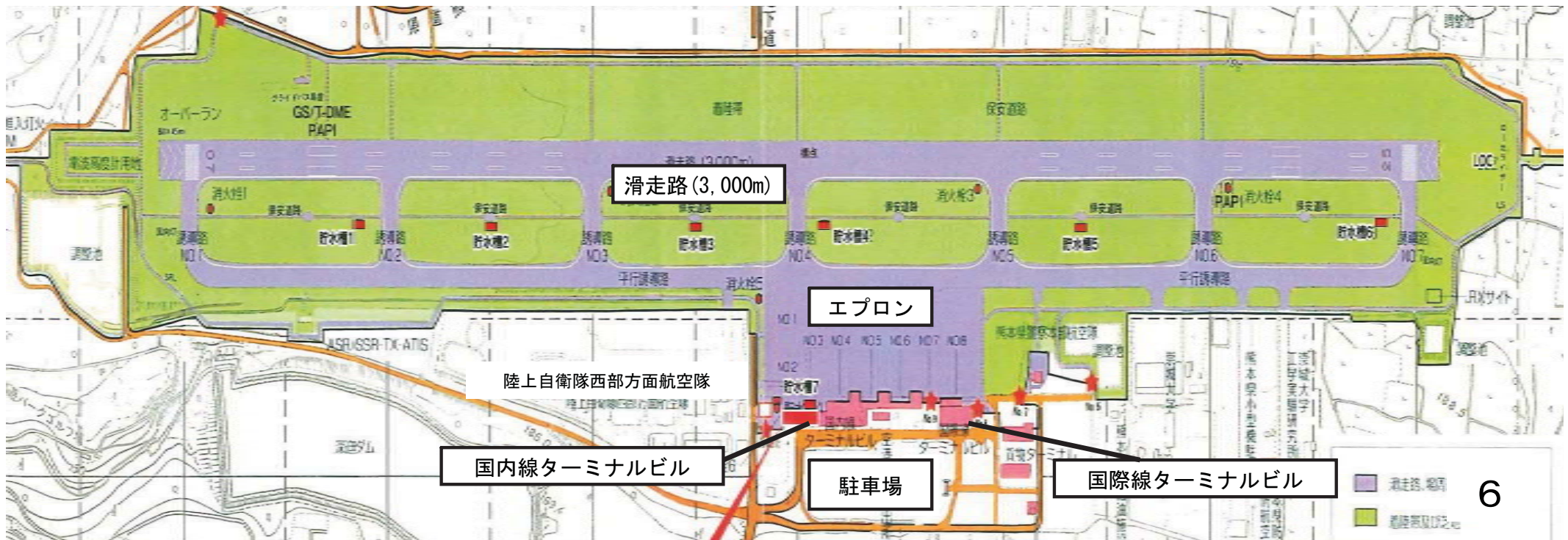
# 経営一体化等の検討～①本県の空港運営の現状

## ○阿蘇くまもと空港の運営主体は、別組織（いわゆる上下分離）

施設名	運営主体
滑走路、エプロン、無線施設等	国(国土交通省)
ターミナルビル	熊本空港ビルディング株式会社
空港駐車場	(財)空港環境整備協会

## ○C I Q (税関・出入国管理・検疫) は、国(財務省・法務省・厚生労働省及び農林水産省)が実施

## ○航空路線の誘致や利用促進、空港へのアクセス改善などは、熊本県や民間団体(阿蘇くまもと空港国際線振興協議会)等が推進





# 経営一体化等の検討～②本県の基本的な考え方

○経営一体化等については、個別具体的な検討が必要

- ・ 空港の特性や地域の事情はそれぞれ異なること。
- ・ 空港は地域発展の核である。

○阿蘇くまもと空港について

将来にわたって安定的かつ持続的な空港運営の確保

保証

経営一体化等は  
利用者の利便性向上等を図る上で有効な手法

※「経営一体化等」とは：空港関連企業と空港との経営一体化及び民間への経営委託又は民営化

## 【メリット】

- ① 空港駐車場料金の低廉化
- ② 空港ターミナルビルの老朽化したトイレなどの改修
- ③ 空港利用者の案内等を行うコンシェルジュの増員
- ④ レンタカーの空港ビル内でのワンストップサービス化(空港ビル内での受付・貸出・返却)
- ⑤ 空港を中心とする土地利用計画の再編や景観の整備
- ⑥ LCCの誘致など、誘客・ビジネスチャンスの最大化

- ① 阿蘇くまもと空港を始点終点とする九州内旅行商品の造成
- ② 空港との近接性をアピールポイントとした企業誘致
- ③ 交流イベント、地元産品直売所やテナントの更なる充実化など

○利用者の利便性向上

○地域活力の向上

大空港構想の実現

## ○課題

**将来にわたって安定的かつ持続的な空港運営の確保**（空港運営会社の財政基盤の強化）

### ①採算性の確保

- ・ 大規模整備及び修繕に対する国の支援
- ・ 国有地の無償譲渡又は無償貸与
- ・ 経営に必要な資金調達の低コスト・安定化のための対策 など

### ②大規模災害への対応など空港運営の安定化のための対策

- ・ 経営安定化基金や保険制度の創設 など

※将来の整備経費、維持管理経費など、空港別収支の策定・公開の更なる充実化

## ○国が引き続き実施すべきこと

### ①大規模災害発生時等における空港運営への関与

### ②C I Q（税関・出入国管理・検疫）や航空交通管制の充実・強化

# 大空港構想

～九州におけるハブ空港を目指す～

- 日本一美しく広い空港（ユニーク性）
  - ・土地利用計画の再編や景観の整備など
- 外国人旅行者等で賑わう空港（外国（特にアジア）からの誘客）
  - ・LCCの誘致など
- 利用者に優しい空港（利便性の向上）
  - ・空港アクセスの改善（空港ライナー）など

## 大空港エリアイメージ

JR肥後大津駅

大津

← JR豊肥本線 →

田園風景がひろがる緑豊かな環境

空港ライナー

空港アクセスゾーン

阿蘇という世界的な観光資源に近接



阿蘇方面→

阿蘇くまもと空港

空港リムジンバス

← 熊本市中心部方面